

(3) 1級審判員の検定会と研修会を、次のとおり実施した。

	実施期日	会場	参加者(名)
検定会	平成19年1月7日～8日	東京体育館	49
	平成19年1月13日～14日	邦和スポーツランド	42
研修会	平成19年1月28日	福岡県 アクション福岡	22
	平成19年2月11日	愛媛県 緑の広場	20
	平成19年2月18日	福島県 福島体育館	34
	平成19年2月18日	千葉県 柏井高等学校	49
	平成19年2月18日	奈良県 天理大学体育学部	35
	平成19年2月18日	島根県 県立体育館	7
	平成19年2月24日	静岡県 浜松アリーナ	15
	平成19年2月25日	福井県 古城ドーム	12

(4) 競技規則書を23,417部を頒布した。

採点票(5,377冊)・オーダー票(1,205冊)・ジュニア審判マニュアル(5冊)
レッドカード、他(166枚)等を頒布した。

7. 技術等級制度に関する事業

(1) 名誉指導員6名を認定した。

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
人数	6	6	243	79	2

(2) 技術等級の認定を次のとおり行った。

(数値：名)

等級	マスター	EX	S-EX	SP	S-SP	1級	2級	3級	4級	計
申請	1	66	17	267	10	497	1,165	698	2,688	5,415

(注) 都道府県別認定者数は別表3(P45)に掲載

参考：過去5年間の実績 (数値：名)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
人数	5,750	6,666	6,130	6,389	5,788

8. 用具・施設の公認に関する事業

(1) ラケットの証紙409,080枚 ネット証布2,800枚を頒布した。

参考：過去5年間の実績 (数値：枚)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
ラケット証紙	518,400	612,100	498,070	493,115	445,795
ネット証布	3,000	3,800	4,200	2,800	3,200

(2) 6社41種類のラケットを公認した。

9. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ソフトテニス」を発行(毎月1回)

購読者数 支部購読1,533名 個人購読417名

(2) 主要大会のテレビ放映

スポーツ衛星放送チャンネル「ガオラ」のレギュラー番組として、次のとおり放映した。

放映月	大会名
4	第17回都道府県対抗全日本中学生大会
5	第31回全日本高等学校選抜大会
6	第51回全日本女子選抜大会
7	第15回アジア競技大会 日本代表予選会
8	第26回全日本学生王座決定戦
9	第23回全日本小学生選手権大会
10	全日本高等学校選手権大会
11	第28回全日本レディース決勝大会(団体戦)
12	天皇賜杯・皇后賜杯 全日本総合選手権大会
1	競技者育成プログラムStep-4(全日本U-21・18・14選考会兼強化練習会)及び第1回ジュニアジャハンカップ
2	第47回全日本東京インドア大会
3	第52回全日本インドア選手権大会

(3) 第61回全日本選手権大会(福岡市)がNHK教育テレビで、前年に引き続いて放送された。

(4) 平成18年度 大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布した。

(5) インターネットのホームページを継続した。

URL : <http://www.jsta.or.jp>

E-mail : info@jsta.or.jp

10. 各種表彰の実施

(1) 平成18年12月17日の評議員会に先立って、平成18年度の各種表彰を行い、代表者に賞状・メダル等を授与した。

表彰の内訳は、次のとおりである。

本部功労者 なし

支部功労者 90名

優良団体 44団体

ランキング 434名

最優秀監督 優秀監督

最優秀選手 優秀選手

読売スポーツ賞

JOCジュニア・オリンピックカップ最優秀選手

オリンピック有望選手

次表参照